

【研究活動】

◆ **高校野球 投球数・練習内容の調査**

- ・ 2021年度に1年間調査、県内約30校、100名の毎日の投球数、練習内容と投球肩・肘障害との関係を調査・解析
- ・ 2023年度中にデータ発表予定

◆ **motus（ウェアラブル加速度センサー）を用いた学童野球選手の遠投測定**

- ・ 2022年度に20名測定、遠投と通常投球の違いを検討
- ・ 2022年12月、第2回新潟県リハビリテーション専門職学会にて「学童軟式野球選手における遠投時の肘関節最大外反トルク」を発表（小林凜）
- ・ 2023年度も測定予定

◆ **女子野球投手の動作解析・メディカルチェック**

- ・ 2023年1月～3月、学童、中学、高校投手の3次元動作解析、メディカルチェックを行った。世代間の比較や性差の比較を行い、女子野球の発展に繋げていく
- ・ 現在データ解析中

◆ **新潟医療福祉大学硬式野球部、過去4年間の障害調査**

- ・ 2016-2019 4年間の障害調査 各学年120人
- ・ 2022年11月、日本臨床スポーツ医学会学会にて「大学硬式野球チームにおける4年間の障害調査」を発表（西沢岳之）

◆ **成長期腰椎分離症患者における臨床所見のデータ蓄積**

- ・ 腰椎分離症と診断された患者の身体機能、痛みを定期的に評価
- ・ 股関節機能と癒合との関係、痛みの推移と癒合の関係を調査

◆ **体外衝撃波**

- ・ 2023年1月、第27回スポーツ障害フォーラムにて「Jones骨折手術後再骨折症例に対する体外衝撃波の治療経験」を発表（岡邨直人）

◆ **前十字靭帯再建術後の理学療法**

- ・ ACL-RSIのデータ蓄積中

◆ **人工膝関節全置換術後の理学療法**

- ・ TKA術後プロトコルの作成と改良
- ・ 術後データ集計中

◆ **大腿骨近位部骨折・脊椎椎体骨折後の理学療法**

- ・ 大腿骨CASデータ集計中
- ・ 椎体骨折のPT評価表と退院後の聞き取り調査の内容集計中

◆ 装具管理手帳の運用開始

- ・ 下肢装具作製後の患者教育や情報提供の内容の統一化および患者の装具相談先の明確化を目的として、装具管理手帳を作成し運用を開始した。特徴は、患者自身で装具管理が行えるチェックシートを含んでいること。2022年度は17件の手帳を作成した。
- ・ 3月、院内研究発表会にて「装具管理手帳の取り組みー適切な装具でより良い生活をー」を発表（菅原花梨）

◆ 栄養摂取量と身体機能の関連

- ・ 2023年 第9回 日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会にて発表予定（内藤翼）
- ・ 「睡眠と身体機能の関連」
- ・ 回復期患者様を対象に活動量計や質問票を用い、データを収集

【対外活動】

◆ シンポジスト・座長

- ・ 2022年12月、第2回新潟県リハビリテーション専門職学術集会
「理学療法士が活躍する新潟県内のスポーツアクティビティサポート」シンポジスト（西沢岳之）
「健康寿命の延伸に向けてフレイル予防の重要性」座長（高野義隆）
- ・ 2022年、第15回日本保健医療福祉連携教育学会学実集会シンポジスト（大野健太）
- ・ 2022年、甲信越・中部ブロック日本水泳ドクター会議・トレーナー会議合同研修会座長（大野健太）

◆ 講師

- ・ 2022年5月、骨粗鬆症サポーター研修「転倒予防と運動療法」（高野義隆）
- ・ 2022年5月、新潟市フレイルサポーター養成講座（高野義隆）
- ・ 2022年7月、新潟県作業療法士会 第1回スキルアップ研修
「整形（脊椎）疾患を有する方のアセスメントの実際とプログラムの要点」（高野義隆）
- ・ 2022年10月、理学療法士講習会 基本編（理論）講習
「地域通いの場におけるリハ専門職の役割と運営ノウハウ」（高野義隆）
- ・ 2022年11月、月潟地区福祉と健康のつどい、月潟健康センター（高田智美）
- ・ 2022年11月、日本スポーツ協会 公認軟式野球コーチ1養成講習会「障害予防」（西沢岳之・榎出侑弥）
- ・ 2022年12月、健康・スポーツ県民講座「コロナ禍におけるフレイル対策」（高野義隆）
- ・ 2023年2月、「怪我の現状、怪我をしないための予防」、村上市上林中学校（岡邨直人）
- ・ 2023年3月、新発田市野球肘検診、指導者講習会
「障害予防のストレッチ&トレーニング」（足立航洋）

・2023年2月、新潟医療福祉大学理学療法学科 講義「臨床実習Ⅰ 症例検討会」(遠藤伸子)

・2023年3月、新潟日報社にいがた健活講座 (高野義隆・津村諒)

◆ 著述

・『オーバーヘッドスポーツの肩関節疾患治療の科学的基礎』

「疲労骨折 —投球骨折・肩甲骨疲労骨折—」(岡邨直人)

・スイミングライフ「選手・コーチに役立つスポーツ科学」連載 Vol.9 (大野健太)

・日本臨牀増刊号『最新の骨粗鬆症学第2版』「二次骨折予防のための理学療法」(高野義隆)

・『MEDICAL REHABILITATION NO.270「骨から考えるリハビリテーション診療」』「脆弱性骨折をどのように防ぐか—リハビリテーション治療の重要性—」(高野義隆)

・『理学療法ジャーナル Vol.57No.1』「臨床実習サブノート」(古川美緒子・渡邊慎平)

◆ その他の対外活動

・野球肘検診 (12月ベースボールフェスタ、2月五泉市、3月新発田市)

・地域ケア個別会議の助言者

北区では4回の地域ケア個別会議が開催され、当院理学療法士2名、訪リハきざき理学療法士1名が助言者として参加(遠藤伸子・渡邊慎平・古川美緒子)

2022年度アスリートサポート新潟 (ASN) 帯同実績

(当院所属理学療法士による)

◆ 新潟医療福祉大学硬式野球部 (西沢岳之)

・2022年4月9日～5月15日、関甲新学生野球連盟春季リーグ戦試合帯同

・2022年5月28日～6月12日、関甲新学生野球連盟新人戦試合帯同

・2022年9月3日～10月15日、関甲新学生野球連盟秋季リーグ戦試合帯同

◆ 新潟医療福祉大学水泳部 (大野健太)

・2022年8月27日～8月31日、第98回日本学生選手権水泳競技大会帯同

・2022年10月21日～10月23日、第64回日本選手権(25m)水泳競技大会帯同

・2022年10月14日～10月16日、第98回日本選手権水泳競技大会(OWS)帯同

・2022年11月4日～11月7日、第5回日本社会人選手権水泳競技大会帯同

・2023年2月17日～2月19日、KONAMIオープン帯同

◆ 新潟医療福祉大学女子バレーボール部 (田中康雄)

・2022年6月22日～6月24日、東日本バレーボール大学選手権大会帯同

・2022年7月16日～7月17日、中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会帯同

- ・2022年9月24日～9月25日、天皇杯皇后杯全日本バレーボール選手権大会北信越
ロックラウンド帯同
- ・2022年10月28日～10月30日、秋季北信越大学バレーボール選手権大会帯同
- ・2022年11月28日～12月1日、全日本バレーボール大学女子選手権大会帯同
- ・2022年12月8日～12月10日、令和4年度天皇杯皇后杯ファイナルラウンド帯同
- ◆ 新潟医療福祉大学陸上部（佐藤俊光）
- ・2022年10月14日～10月16日、北信越学生陸上競技選手権帯同
- ◆ 新潟医療福祉大学女子サッカー部（丸山拓也）
- ・2022年6月25日、後期北信越リーグ戦帯同
- ◆ 東京学館新潟高校野球部（小林凜）
- ・2022年6月3日～6月5日、第146回北信越地区高等学校野球大会帯同
- ◆ 五泉高校野球部（田中康雄）
- ・2022年8月7日、五泉高校野球部メディカルチェック

2022年 作業療法科 研究活動・対外活動実績

【学会での発表】

2022.11.27

新潟県作業療法士会の取り組み

村山拓也（第7回北関東信越ブロック学会）

2022.12.11

脳挫傷により重度右片麻痺，失語症を呈した中学生の復学支援の経験～作業療法士として学校と連携する意味を考える～

刈屋喬（第2回新潟県リハビリテーション専門職学会）

2022.12.11

生活期の運動失調患者に対して ReoGo®-J を用いた介入報告

大平弘樹（第2回新潟県リハビリテーション専門職学会）

【講演・講師活動】

2022.7.8

自立支援と重度化防止～生活機能評価（アセスメント）の使い方～：村山拓也/新発田市 地域ケア個別会議研修会

2022.7.24

整形（脊椎）疾患に対する生活行為向上支援：村山拓也/令和4年度第1回スキルアップ研修会（新潟県作業療法士会）

2022.8.19

介護予防のための地域ケア個別会議について：村山拓也/上越市令和4年度第2回地域包括支援センター職員研修会

2022.9.25

模擬ケア会議：村山拓也/2022 助言者フォローアップ研修会（新潟県地域包括支援専門職協議会）

2022.11.19

自動車運転評価対応に向けた病院施設と教習所との連携について「病院施設側から」：村山拓也/岩手県作業療法士会令和4年度 自動車運転再開支援研修会

2022.12.12

介護予防のための地域ケア個別会議について：村山拓也/地域ケア個別会議司会者研修会 村上市

2022.12.14

地域ケア個別会議～作業療法士の視点～：村山拓也/新潟県作業療法士会 研修会

2023.1.

中枢神経疾患の作業療法：青木栄一／新潟県作業療法士会 研修会

2023.2.15

介護予防のための地域ケア個別会議に生かす基礎知識：村山拓也／新潟県作業療法士会 研修会

2023.3

フレイル予防～生活習慣に取り入れてみませんか～：村山拓也／関川村 住民公開講座

【司会・座長】

2022.8.20

村山拓也／2022年 第1回新潟県リハビリテーション専門職協議会研修会 シンポジウム 座長

2022.10.23

村山拓也／新潟県作業療法士会 認知症アップデート研修【実践編】シンポジウム 座長

2022.12.10

青木栄一／第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会 一般演題 座長

2022.3.12

村山拓也／2022年度 助言者フォローアップ研修会 多職種連動研修 司会、ファシリテーター

【新潟県介護予防アドバイザー支援活動】

五泉市 新潟モデル支援事業

2022年4月、5月、6月、8月、10月

粟島浦村 地域ケア個別会議支援（WEB）

2022年5月23日、6月21日

胎内市 大分モデル支援事業

2022年9月、10月、12月、2023年1月、2月、3月

聖籠町 大分モデル支援事業

2022年9月、10月、11月、2023年1月、2月、3月

【北区地域ケア個別会議】

2022年6月：千田香織

2022年8月：友野優平

2022年12月：藤田真衣

2023年2月：大平弘樹

【企画・運営】

障害と自動車運転に関する研究会（当院が代表事務局）

2022.5.21

第18回障害と自動車運転に関する研究会（村山拓也、大平弘樹）

2022.10.22

第19回障害と自動車運転に関する研究会（村山拓也）

2022.11.6

2022年 第2回新潟県リハビリテーション専門職協議会研修会（村山拓也）

2023.1.15

2022年 第3回新潟県リハビリテーション専門職協議会研修会（村山拓也）

2022年 言語聴覚科 研究活動・対外活動実績

【研究活動】

- ・2022年6月、第23回 日本言語聴覚士学会学術大会にて「非日本語話者に対する神経心理学的検査実施の経験」を発表（田辺翔）（6/24）
- ・2022年12月、第46回 高次脳機能学会にて「非日本語話者に対する神経心理学的検査実施の経験」を発表（田辺翔）
- ・2022年12月第46回 高次脳機能学会にて「呼称で音韻性と語彙性の誤りが同時に表れた頭部外傷の一例」を発表（田村和子）
- ・2022年12月、第2回 新潟県リハビリ専門職学術大会にて「ごみ屋敷症候群の患者に高次脳機能検査を試みた一例」を発表（田村和子）

【対外活動】

◆ 講師

- ・2022年11月、医療と介護の出前スクール：敬和学園（藤間紀明・高橋茉鈴）
- ・2022年10月、失語症支援者養成講座（本間崇彦・田村和子）
- ・2023年1月、新潟リハビリテーション研究会，定例勉強会（筒井奈佳子）
- ・2023年3月、高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会－自動車運転－（高橋茉鈴）

◆ 座長・コメンテーター

- ・2022年6月、第23回日本言語聴覚士学会学術大会，摂食嚥下分野 座長（大橋知記）
- ・2022年12月、第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会，サルコペニアの予防 座長（大橋知記）
- ・2022年12月、新潟県慢性疼痛診療講演会，コメンテーター（筒井奈佳子）
- ・2022年7月、新潟医療福祉大学オープンキャンパス，コメンテーター（石川千里）
- ・2022年8月、BSN ラジオ「四畳半スタジオ」言語聴覚の日PR（田村和子）
- ・地域ケア会議助言者：（石川千里・本間崇彦・高橋茉鈴・森口みどり）

【企画・運営】

- ・ST 県士会総会 運営（田村和子・高橋茉鈴・秋野恵未）
- ・第23回 日本言語聴覚士学会学術大会 運営（上之山恵美・田村和子・本間崇彦・浜本彩・森口みどり）
- ・新潟県言語聴覚士協会 第3回研修会 JAS 生涯学習プログラム 運営（高橋茉鈴・秋野恵未）

- ・すこやか灯祭り 運営（田村和子）
- ・第2回 新潟県リハビリテーション専門職学会大会 運営（大橋知記）
- ・運転と自動車研究会 運営（石川千里・高橋茉鈴・遠藤直人）

2022年 実習生受け入れ実績

理学療法科	
総合実習	13名
評価実習	7名
検査測定実習	23名
見学実習	1名
言語聴覚科	
総合実習	3名
評価実習	1名
見学実習	43名
作業療法科	
総合実習	5名
評価実習	6名
体験実習	3名
見学実習	48名